

令和7年度の取組を ふりかえる

く 景観だより く

てくてくてくてくてくてくてくてく 和束

第五号
(令和八年春)

住民懇談会を実施しました！



京都府立大学 上杉教授と
京都先端科学大学 藤井特任教授
にご出席いただきました。

国選定の文化財である重要文化的景観。
その選定に向けて、選定候補である原山、釜塚、
白栖、石寺、撰原の五地区で住民懇談会を実施し
ました。
一回目は七月二十八日から八月四日に五つの各地
区公民館にて、二回目は九月二十一日から十月七日
に実施しました。

発行

和束町まちづくり応援課

「てくてくてくてくてくてくてくてくてくてく
和束」は文化的景観調査などの取組や
地域の特徴（地域らしさ）を紹介する広報誌です。

懇談会では、

- ①重要文化的景観とは、どのような文化財なのか
- ②「和束の茶業景観」調査結果のまとめ
- ③重要文化的景観を用いた他地域の事例
- ④重要文化的景観を用いたこれからのまちづくり
を中心にお話したのち、質疑応答の時間を設け、こ
れからの取組について確認しました。

7/28 重要文化的景観住民説明会

原山

和束らしい
茶業と暮らしの風景を
活かしたまちづくり
～重要文化的景観を用いて～

和束町役場 まちづくり応援課
担当：岩本

「和束の強み」を守り、
活かす取り組み

・国選定の文化財「重要文化的景観」の選定を目指します

風景の
国宝！

→和束ならではの暮らしが生み出す風景全体が文化的景観
その中から、原山・釜塚・白栖・石寺・撰原では重要文化的景
観の選定に向け、準備をしています

「和束の強み」
～原山の茶業と暮らしの風景～

・和束のお茶の始まりの地・長い歴史と暮らしの風景

解説スライド
(抜粋)

山腹に広がる茶園とひな壇状集落

文化的景観シンポジウムを開催！

三月八日には「茶源郷和束 文化的景観シンポジウム」探す、見つける、語る」を開催しました。

このシンポジウムは、令和8年度の重要文化的景観選定を目指す中で、文化的景観の制度を伝えること、さらに「和束らしさ」について、深掘りしてみんなで再発見することを目的に開催しました。

①重要文化的景観とは？

重要文化的景観の制度について、和束町まちづくり応援課職員が解説しました。

そのうち、奈良文化財研究所 客員研究員の小浦久子先生から、他の地域で重要文化的景観がどのように運用されているかを紹介いただきました。



重要文化的景観についての解説
(町職員岩本)



他地域の事例
(小浦先生)

②「まいまい京都」以倉さまの講演

京都でミニツアーを実施している「まいまい京都」代表の以倉敬之さまをお招きし、地域の魅力の見つけ方や発信の仕方を講演いただきました。

タイトルによってツアーの集客が決まる、そして案内者の愛や熱量の高さによって参加者の充実度も上がり、案内した地域の魅力の発信に繋がるようです。

ツアー案内をした馬場町長との対談もありました。

③魅力再発見ワークショップ

来場いただいたみなさんの住んでいる地域について、少し昔の暮らしの様子や、自分のお気に入りの風景が見られるスポットを教えてもらい、和束町の地区が描かれた大判の地図に書き込んでいきました。

たくさんの方の地域の魅力が詰まった地図が出来上がりました。これをもとに、和束町の暮らしに注目した動画を作成する予定です。



昔の道具を
展示しました。



く景観だよりく てくてく和束
和束町まちづくり応援課